

一般社団法人日本下水サーベイランス協会

第2回講演会プログラム

- 講演テーマ : 社会における下水サーベイランスの活用に向けて
- 開催地 : 北海道大学工学部フロンティア応用科学研究棟2階レクチャーホール(235人収容)加えて、2階セミナー室(87席)にて視聴可能(トータル322席)
- 住所 : 〒060-8628 北海道札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学構内
- アクセス : JR札幌駅下車 徒歩20分
市営交通・地下鉄南北線「北12条駅」より徒歩13分、「北18条駅」より徒歩10分
- 開催日 : 2023年8月2日(水) 12時30分開場、13時00分開演

総合司会 : 北島正章 (JWWSA 理事/北海道大学 准教授)

▶タイムテーブル

13:00~13:10 開会挨拶 村上会長 (JWWSA 会長/株式会社NJS 代表取締役社長)

13:10~13:15 ビデオメッセージ 大曾根誠氏 (厚生労働省健康局結核感染症課 課長補佐)
「厚生労働省における下水サーベイランスの取組みについて」

【第1部】公衆衛生関係者及び医療関係者の皆様への下水サーベイランス活用に向けた提案

13:15~13:45 特別講演Ⅰ : 舘田一博氏 (JWWSA 特別会員/東邦大学医学部 教授)

「COVID-19 パンデミックから何を学ぶか ~下水サーベイランスの活用を含めて~」
感染症の専門家の立場から、感染症対策全般における下水サーベイランスの位置づけと期待、そしてこれから平時・有事問わず下水サーベイランスが公衆衛生情報取得手段の一つとして社会で活用されるために必要なこと等についてご講演いただきます。

13:45~14:15 特別講演Ⅱ : 山口亮氏 (札幌市保健所長)

「札幌市保健福祉局における下水道疫学データの活用とその可能性」

全国に先駆けた自治体主体の下水サーベイランスが推進されてきた札幌市において、自治体の保健部局の立場から見た下水サーベイランスの位置付けおよびデータ活用に至るまでの経緯などについてご講演いただきます。

【第2部】地方自治体の皆様からの下水サーベイランス活用事例の紹介

14:25～14:55 田中宏明氏（京都大学名誉教授・信州大学特任教授）

「内閣官房実証事業を俯瞰して」（仮題）

内閣官房実証事業の専門家委員の立場から、昨年度の実証事業の総括および今後の下水サーベイランスの社会実装に向けた展望と課題などについてご講演をいただきます。

14:55～15:40 「自治体における活用事例の紹介」

- ①「札幌市における下水サーベイランスの取組について」
渡邊浩基氏（札幌市下水道河川局処理担当部長）
- ②「安心して暮らせるまちを目指し ～下水道の新たな可能性に期待して～」
中野哲夫氏（小松市上下水道局上下水道管理課 課長）
- ③「養父市の下水サーベイランスデータの活用ー市民への情報提供ー」
坂本龍二氏（養父市危機管理監）

下水サーベイランスを継続的に実施している自治体における取り組みの概要、これまでに取得した結果および市民からの反応や声の紹介、下水サーベイランスに関する今後の展望や期待についてご講演をいただきます。

15:50～16:30 パネルディスカッション

ファシリテーター：片山浩之氏（東京大学大学院工学系研究科 教授）

登壇：石黒信久氏（北海道大学病院感染制御部 部長・診療教授）、

北島正章（JWWSA 理事／北海道大学 准教授）、

田中宏明氏（京都大学名誉教授・信州大学特任教授）、

舘田一博氏（JWWSA 特別会員／東邦大学医学部教授）、

前田秀雄氏（公益財団法人結核予防会審議役）、

山口亮氏（札幌市保健所長）

16:30～16:40 閉会挨拶

小林博幸（JWWSA 副会長／塩野義製薬株式会社 イノベーションフェロー）

以上

※プログラムの内容は予期なく変更となる場合がございますのでご了承ください